

令和4年度 文京区立礪川小学校 授業改善推進プラン

＜ 道徳 ＞

学年	現状分析	具体的な授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値について考え、自分なりの意見を発表できた。 ・授業中での発言やワークシート等で表した内容を、日常生活での実践に結び付けていくことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳で学習した道徳的価値や考えを実際の生活の場面でも生かせるように、授業の中だけでなく、日常とのつながりをもたせた指導を工夫する。 ・自分の考えをもとに、書いたり、話し合ったりする機会を授業の中に多く取り入れ、自分の考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちになって考え、気持ちを発表したり、表現したりできる児童が多い。 ・学んだ価値を実生活に生かすことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動作化、役割演技、視聴覚的な資料など様々な指導の工夫を取り入れて、さらに児童の興味・感心を高めていく。 ・実生活における例を取り上げて考えさせ、自分の生活を振り返る時間をとる。日々の生活との結び付きを意識した発問や授業の構成を考え、実践する。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間における、道徳的価値について、自分なりの思いや考えをもつことができる。 ・自分自身を振り返ったり、自分の生活に関連付けて今後の言動を考えたりすることについては、課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間だけでなく、教育活動全てを通して、様々な道徳的価値を取り上げ、考える機会を設ける。 ・道徳の授業の中で、自らに結び付けて考える時間を確保し、価値の理解だけに終わらないよう配慮する。また、自分事として考えられるよう授業の中で促していく。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値について素直に考え、自分の考えを表現することができる。学んだ価値に関して、これまでの自分自身の生活に結び付けて考えているが、そこからその後の生活に結び付けることにまだ課題を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分を振り返りながら意見を形成するとともに、他者と対話することによって考えを深めていけるように指導していく。様々な意見を取り上げながら、課題に関して、より多面的多角的に考えられるように指導する。また、今後の生活にどのようにいかしていけるのかも深く考える時間を設定する。

5年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもつとともに、友達の意見にも耳を傾け、新たな発見をすることができた児童もいた。 ・道徳で養った価値について、日常生活に置き換えて考えることができた。 ・道徳で養った価値を、実生活で活かすことには課題が残った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間振り返りを書かせることで、授業を通して考えたことを表現できるようにする。 ・授業では、必ず自己内対話と他者との対話の時間を設定する。 ・今後も日常との関連や、自分に置き換えて内容項目を考えさせていきたい。 ・道徳の授業と実生活のつながりについて、児童が意識できるよう声掛けをしていく。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な教材に関して、自分のこととして捉えたり、主人公と自分を重ねたりして、主体的に取り組む姿が見られた。 ・自分の考えをもとに話し合ったり書いたりする学習では、他の児童の意見を受け入れたり真剣に聞こうとする姿に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感動、共感、批判的に教材に関わらせることで、多面的に物事を考えさせるよう工夫する。そのためにも、対話的な活動や掲示物を充実させ、身近な教材を取り上げ、自らの考えを深めさせる。 ・教材に向き合い、自らと主人公を重ねたり、自分のこととして捉えたりして、課題に向き合っていくことが大切である。その際は、友達の意見を認め、受容的に捉えられるよう促していく。